

2014年5月14日

船曳鴻紅様

朝日新聞出版アエラ編集部
編集長 浜田敬子

前略

平素よりお世話になっております。

AERA4月14日発売号の「子育て小国を生きる」特集の記事につきまして抗議のメールをいただきました。アエラ編集部として改めて回答を差し上げます。

今回、私どもは、保育園の少なさ、子育て夫婦に対する無理解、教育費の高さなど、日本の子育てを阻む様々な障壁を取り上げ、どうしてもっと子育てしやすい社会にできるのか考えていくという特集を組みました。その取材過程で、池田山で起きている保育園反対運動を知り、船曳様をはじめ、夢工房理事長、品川区保育課、区内の保育園児の母親などからお話を伺い、記事にまとめました。

働きながら育児をしている夫婦にとって、保育園に入れるかどうかは死活問題です。多くの待機児童がいる現在、一カ所でも多くの保育園ができることは切実な要望になっています。そうしたなか、保育園建設に反対の声が上がるということは、理由はどうあれ、子育て夫婦にとっては大きな打撃であると言わざるを得ないと思います。

今回の反対運動に関しまして、弊誌記者は船曳様に、「夢工房でなければ、あの地に保育園を建てることに賛成なのですか」と何度も質問し、「保育園がたつこと自体に反対」との回答を得ており、その記録は取材メモに残っています。

私どもの記事につきまして、色々のご指摘をいただきましたが、そもそも記事にまとめるということは、集めたデータを必要性や重要性に応じて取捨選択して構成することであり、話に聞いた内容をそのまま書き写すことではありません。ましてや事前に記事のストーリーを決めて、取材データを恣意的に当てはめることもしておりません。今回の記事もそのようにして作成しており、内容についてはすべて取材メモに基づいております。

肩書きにつきましてもご指摘がありましたが、取材時にいただいた名刺に「東京デザインセンター代表取締役社長」とあったこと、取材の最初に「社長です」とおっしゃったことから、そのように表記いたしました。

また、事前連絡につきましては、取材時に掲載日などはお知らせしており、「確認したいことが出てきたら連絡します」と申し上げたものです。

以上、ご理解くださるようお願いいたします。

早々